



小さな声を形に！伊藤こうへい通信

第4回定例会 代表質問より

子ども未来行政

～保育所のトイレ設備について～



本市の公立保育所の施設改善は、平成24年7月に策定された基本方針を基に、木造を中心とした建替などを実施しておりますが、建設から半世紀近く経つ鉄筋コンクリート造の建物の老朽化も進んでおります。

特に衛生面では、トイレの洋式化や沐浴室も含めたドライ化、現在もトイレの水が流せないなどの不具合箇所の改修などを求める声が寄せられております。また、毎朝職員がトイレマットを拭き取り、ドライ化に努めているなど、職員負担の観点からも早急な改善が必要です。



Q1 現在策定中の児童福祉・子育て支援施設計画に、トイレの維持保全計画を位置付け、トイレの洋式化やドライ化に早急に取り組むべきと考えます。当局の見解を伺います。

A1 保育所のトイレ設備については、工事の実施による保育への影響等により、現在までドライ化や洋式化などの改修を行うことができていない箇所があることから、衛生面の改善や保育士の負担軽減などの観点から、基本方針で定める建替えまでの期間を考慮しつつ、できるだけ保育に与える影響が少なくなるよう施工を工夫し、予算枠を確保しながら計画的に改修を進めてまいります。

また、老朽化の進行によりトイレ設備に不具合が生じるケースが多くなっていることから、安全性や保育への影響等を考慮し、緊急性の高い箇所については、速やかに対応するよう努めてまいります。

CHECK



保育所施設の老朽化対策の必要性を認識しつつも、対処療法的な修繕を繰り返してきており、現場の工夫で難を凌いだと言えます。職員の負担軽減は勿論のこと、感染症対策が求められる中において、早急な改善を強く求めます。

保健福祉行政

～療育センターについて～

令和2年11月26日から12月15日にかけて第4回千葉市議会定例会が開催されました。公明党市議団代表質問の一部や地域の課題も含めご報告いたします。

療育センターでは、一般に障がいのある子どもに対して、それぞれにあった治療・教育を行う場所です。

一口に療育と言っても、一人ひとりにあう治療法や保育・教育の方法があり、療育センターという施設がどのような支援を行っているか、どんな機能を有しているかなど、その名称だけでは判断できないとの声が寄せられております。

また、療育センター内に設けられている療育相談所では、平成28年度時点で、予約から初診まで3ヶ月要していたものが、業務の見直し等で何とか2ヶ月まで短縮されたものの、不安を抱く保護者にとっては更なる時間短縮が求められております。こうした課題について本市の見解を伺いました。



Q1 本市の療育相談事業の更なる発展を図る上でも、利用者にとりやすい福祉と医療を提供する施設であることを明らかにする名称を検討する時期に来ていると考えますが、見解をお聞かせ下さい。

A1 発達障がいに関する理解が進み、早期に診断を受け、早期に療育につながることを希望する方が増えていることや、療育を実施する障がい児通所支援事業所が増加していることなど療育を取り巻く社会情勢が変化している中、療育センターの機能の拡充を進めており、その進捗状況に併せて名称変更の必要性についても検討してまいります。

Q2 外来受入施設を増やすことや医師の確保、桜木園への言語聴覚士等の配置により、市内の療育体制の強化につながると考えるが見解を伺います。

A2 現在、初診までの時間短縮等、療育センターの機能強化を図っておりますが、市内において診断から療育まで受けることができる公的機関が療育センターのみであることが課題となっております。こうした課題への対応として、医師を配置する公的な障がい者施設である桜木園において診断・療育機能を持つことは、療育体制の強化と利用者の利便性の向上につながるため、検討してまいります。

CHECK



初診の待ち期間など、業務改善に取り組まれていることは理解するものの、早期発見はもとよりの確な診断とライフステージの変化に応じていく機能強化はますます求められていると考えます。

本市の限られた施設の機能強化は勿論のこと、地域の「かかりつけ医」の先生方の協力も得ながら、当該児童へのサービスが提供できるよう体制づくりを求めます。

皆様の声を形に!

黒砂水路 新高洲歩道橋の補修 ～雨天時歩道表面の滑り止め対策～

昨年の初めに、新高洲歩道橋の表面がタイル構造となっており、雨天時は特に滑りやすく転倒される方もいるとのことで、改善を求められておりました。
樹脂と骨材により、タイル表面にざらつきを持たせ滑り止め加工を実施しました。



Before

表面の滑り止め加工（断面図）



※樹脂と骨材により、表面にざらつきを持たせます



after

検見川浜駅付近磯辺5-7T字路 横断歩道を補修 ～路面の老朽化対策と横断歩道再設置～

平成31年初めに、横断歩道部分の舗装の老朽化により表面の凹凸で転倒された方からの要請で、道路表面の補修と横断歩道の再設置を実施しました。
なお、道路幅員が広く横断歩道を渡りきれないとの要望もありますので信号機の調整など引き続き要望してまいります。



Before



after

トピックス

歩行者自転車道路海浜1号線の再整備が始まります!



海浜1号線は、稲毛海岸2丁目から5丁目の区間を地域の遊歩道として長年利用されております。
平成23年に、海浜1号線の老朽化への対策や歩道と自転車の

境界に段差等あることから、転倒や足を挫くなどし、改善が求められておりました。
長年の要望がようやく動き始めます。

市政に関するご意見ご要望をお寄せください。

千葉市議会議員

伊藤こうへい

〒261-0001 千葉市美浜区幸町 2-6-1-408

Tel/Fax.043-301-3841

<http://www.komei.or.jp/km/chiba-ito-kohei/>
<https://www.facebook.com/kohei.ito.906>